



信徒が守る礼拝

教会数に対して聖職数が足りないという昨今の教会事情の中で、信徒だけで主日礼拝を守らなければならないということが、全国のあちこちで起きています。今まで教会活動のすべてを聖職者に依存してきた信徒たちも、ただ困ったと嘆くだけでなく、自分たちにできることをして教会活動を継続してゆくことが求められています。困難な状況に直面している教会の声を聴きながら、共に考え、支援をしたいと考え、今年の信徒講座を下記の通り企画しました。

講座形態は昨年同様に当教会での対面形式及び Zoom にて開催します。必要経費はヒルダ・ミッシェル資金で賄い、参加費は無料です。

期 間：9 月 20 日(土)～10 月 18 日(土)全 4 回

プログラムの詳細については裏面をご覧ください。

実施場所：渋谷聖公会聖ミカエル教会 渋谷区広尾2-1-7
およびオンライン

定 員：現地 50 名(申し込み先着順)

参 加 費：無料

申込方法：二次元コードをスマートフォンで読み取るか、当教会ホームページよりお申し込みください。申し込み期限は 9 月 19 日(金)まで。

<https://shibuya-michael.com/>



問合せ先：渋谷聖公会聖ミカエル教会 mail:shibuya.st.michael@gmail.com

	日時	テーマ	講師・パネラー
1	9月20日(土) 10:30~12:00	①教育現場での教話の紹介 ②困難な状況に直面している教会 の声を聴く懇談会	立教女学院小学校教諭 小野聡之
2	9月27日(土) 10:30~12:00	信徒が司式する主日の礼拝	祈祷書改正委員 司祭 市原信太郎
3	10月4日(土) 10:30~12:00	聖書解説資料作成の意図と狙い	カトリック司祭 雨宮慧神父
4	10月18日(土) 10:30~12:00	聖書解説資料を用いた学びと分か ち合い	聖書協会共同訳翻訳者新約担当 布川悦子

講師プロフィール:

小野 聡之 氏

日本聖公会渋谷聖公会聖ミカエル教会信徒

立教大学文学部キリスト教学科卒業後、三重県津市にある中高一貫のカトリック女子校にて6年間、宗教科と社会科の授業を担当。2024 年度より立教女学院小学校にて朝の礼拝での司式と教話、6 学年全 12 クラスの聖書の授業を担当。

市原 信太郎 氏

1964 年福岡県生まれ。小学校入学から大学卒業までの期間を東京で過ごし、長野県の電子機器メーカーにエンジニアとして 10 年間勤務の後、中部教区より聖職志願。2003 年聖公会神学院卒業、Church Divinity School of the Pacific(米国)修士課程修了。2005 年司祭叙任。現在、祈祷書改正委員会実務担当者、松本聖十字教会管理牧師、大森聖アグネス教会協力司祭(定住)。聖公会神学院及び立教大学・大学院非常勤講師。国際典礼学会(Societas Liturgica)会員。

雨宮 慧 氏

カトリック東京教区司祭、上智大学神学部神学科名誉教授

聖書学者、「聖書協会共同訳」翻訳者—旧約担当

『聖書講話集Ⅰなぜ聖書は奇跡物語を語るのか』(教友社、2011)、『NHKこころの時代-宗教・人生 福音書の言葉【上】【下】』(NHK 出版、2010)、『主日の聖書解説〈A 年〉〈B 年〉〈C 年〉』(教友社、各 2007, 2008, 2009 年)など、著作多数。

布川 悦子 氏

日本聖公会渋谷聖公会聖ミカエル教会信徒(信徒奉事者)

「聖書協会共同訳」翻訳者—新約担当

聖公会神学院元非常勤講師(新約聖書釈義等担当)、立教女学院短期大学元非常勤講師